

ろうさん彩登

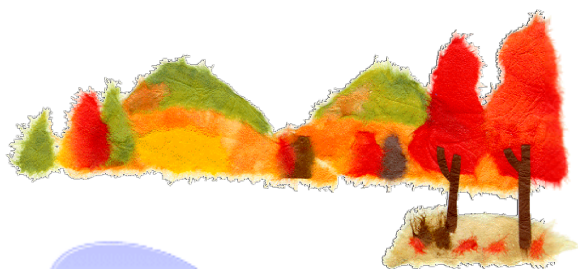
サイ ト

埼玉県勤労者山岳連盟

機関紙：発行責任者 武笠真次
編集 小松勝浩

〒330-0063
さいたま市浦和区高砂4-1-5ふじビル2階
TEL・FAX 048-838-0640

<http://www.tozans.justhpb.jp/>



県連の動き

委員会活動報告

17号目次

P1：県連の動き

P4：登山学校【地図の読み方】

P7：岩ネット参加報告

P8：「第19回全国ハイキング交流集会in
岐阜」に参加して

P9：フォトコンテスト告知

山のフォトwebコンテスト受付中

○現在県連ホームページにてフォトコンテストを開催中です。作品を受付中ですので是非出品してください。

安全登山講演会

11月30日(日)13:00～

場所：与野コミセン

講師：野口いづみ氏

定員100名

セルフレスキュー講習

机上・実技講習会

机上：10月18日(土)

場所：高鼻コミセン

実技：10月19日(日)

場所：日和田山周辺

主催：県連救助隊

全国連盟活動

新特別基金運営員会 9月30日(火) 交付申請中

【桝歩歩富士見山の会】51歳(男) 8/15 9:30事故発生 登録口数(3口) 北ア。双六岳から下山 鏡平山からわさび平小屋までの小池新道秩父沢の橋付近 傷病名：右足首骨折脱臼

【登攀クラブ岩つばめ】40歳(男) 9/9 11:15事故発生 登録口数(10口) 北ア。北鎌尾根 槍ヶ岳山頂直下

・関東ブロック役員交流会 9月6日～7日 場所：奥多摩園 愛宕山・要害山出席：埼玉武笠・佐藤 神奈川2名 千葉2名 東京11名 群馬2名

県連全体活動

○海外集会について

11月30日9:00受付(9:30～11:30)

場所：与野本町コミュニティセンター第1・第2会議室

○安全講演会について

11月30日1300受付(13:30～16:30)

場所：与野本町コミュニティセンター多目的ルーム(大)

財 政

・連盟費納入状況について 4会未納 今月中にお願いします

ハイキング

来年1月の講習会の講師・場所検討中

委員会活動報告**ホームページ**

機関紙電子版9月10日16号発行掲載
救助隊第4回役員会9/21報告掲載、小型探索端末「ヒトココ」を使用した訓練模様と今後の展望について（柴山県連救助隊長）掲載、
山のWebフォトコンテスト応募要領
10月18日（土）、19日（日）セルフレスキュー講習会のお知らせ掲載

自然保護

10/11, 12 南アルプス・リニア新幹線トンネルを考える
11/8, 9 天祖山見学登山 11/15、16 自然保護集会 横浜

登山学校

10/4、5 第5回講座「岩登り入門」
机上 カルタスホール 27名受講 運営委員14名
実技 日和田山 雨天中止 補講検討中 次回運営委員会 10/27

救 助 隊

10/18、19セルフレスキュー講習会 高鼻コミセン 日和田山周辺
10/20 岩搬出学習会 浦和パルコ
11/9 岩搬出訓練 岳嶺岩 次回第5回役員会 11/10

岩ネット

9/20 日和田山ゲレンデ 9名
参加会・クラブ：やまなみ4名、飯能3名、所ハイ1名、
次回 10月25日（土）（基本的には第3土曜日）

沢登りネットワーク

9/13～15 巻機山周辺 米子沢～上ゴトウジ沢～上トトンボ沢
参加者：鈴木他6名

海 外

・委員会 9/18 2名 参加者を募るため、受信メールを2012年から今年まで渡航した人を調査、電話で依頼
（日和田アルパイン、新座山の会、三郷山の会）
・海外集会：11月30日（日）9:00受付（9:30～11:30）、場所：与野コミュニティセンター第1・第2会議室

機 関 紙

機関紙電子版9月10日 16号発行、機関紙ダイジェスト版発行
次回発行（第17号） 10/14日（第2水曜日）原稿投稿は早めに。

遭難防止・安全教育

安全講演会：11月30日（日）13:00受付（13:30～16:30）
場所：与野コミュニティセンター多目的ルーム（大）
講師：野口いづみ氏 定員100名、参加費（リーフレット作成済）

組 織

2014年度三役名簿作成、2014年度理事役員名簿作成・・・理事長

女 性9/1開催 名出席、次回委員会 10/20 開催
救助隊の援助でビバーク体験（11/29）を企画**ブロック活動報告**西部＝ブロック会議：千葉B長（飯能）次回会議 10/9交流ハイクについて打ち合わせ
11/16本番（小川町和紙センター）南部＝ブロック会議：伊藤正B長（わらび）会議 9/18パルコ 次回会議10/16
10/26 交流ハイク 水沢山

中部＝ブロック会議：岡野B長（大宮）会議9/10 11/15 地図読み笹子滝子山

北部＝ブロック会議：石川B長（熊ト）会議未定



今月は記事の投稿が有りませんでしたので加盟会通信はお休みします。
 10月当番の加盟会機関紙担当者の方は早急に記事の提出をお願いします。

ビバーク・イン・日和田 -第二弾実践-ツェルトで一夜を明かそう

緊急時の対応として去年ツェルトの張り方・使用方法を学習しました。今年は、ビバーク体験をします。安全な場所で、より高度な学習体験をし、安全技術を高めます。

主催：埼玉労山女性委員会 ・講師：埼玉労山救助隊長 柴山 利幸氏

女性委員会では、県連救助隊長の柴山利幸氏を講師に招き、隊員の協力を得て日和田でビバークします。めったにできない経験・学習のチャンスです。参加者一人一人に事前に講習をし、安全に、丁寧に実践指導します。奮って多くの会から、ご参加ください。

期 日 2014年11月29日（土）14：00～11月30日（日）9：00まで

場 所 日和田周辺高麗駅から歩いて30分

時 間 集合・13：30～ 開始14：00

～講習 16：00～ツェルト張り 「参加費」800円（トイレ袋等雑費を含む）

内 容 山中での実技実習と講習

持ち物 日帰り1日山行の基本装備・ツェルト・ストック・筆記用具・防寒具等・

募集人員 15名（調整あり） ☆現在健康に不安のないかた

申込み先 女性委員会担当：久保 eメールー Kubo10@orion.ocn.ne.jp

所属会名 氏名、年齢、連絡先電話・（メール等）を明記して申し込み下さい。

*締め切り 2014年11月9日（日）

*当日の寒さに応じて、主催者の方でテント、ガス、シュラフ等の若干の用意をします。無理のない安全な講習・体験を実施いたします。その他、持ち物等の、詳細につきましては、申し込みされた参加者に、主催者の方から後日別途お知らせいたします。

登山学校

第19期登山学校【地図の読み方】に参加して

第19期生 第3班 福島 秀佳 記

「机上講座」 9月6日（土） 午前9時半～午後3時半 場所・北浦和カルタスホール
八木原運営委員から次の内容で「地図の読み方講座」の講義があった。

① 道迷いの原因と対策

② 地図読みの基礎

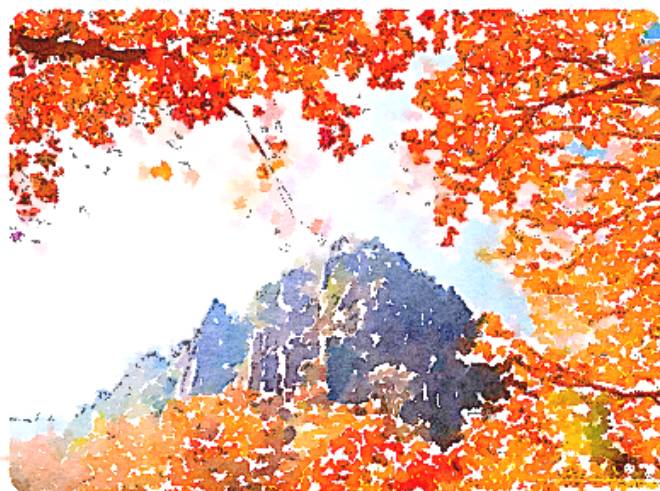
「地図の種類」「地図の記号」「等高線」「磁北線の意味と引き方」

③ コンパスの使い方

講義の後、25000分の1の武蔵御岳の地図で磁北線を引いてみた。また、地図の折りたたみ方も実際にやってみた。コンパスの使い方も練習する。明日行く高水三山の地図を使い、登山道を中心に尾根と谷がどのようなになっているかを検証する。三百、四百、五百、六百メートルの等高線を結び、平面の地図から立体的に地形を見るように学んだ。縦軸に標高、横軸に距離で高水三山の断面図を作成し、どのあたりが厳しい登り下りになるかも検証した。普段の登山では5万分の1の地図（山と高原地図）で、登山道の標識だけを頼りに歩いているので、いざという時に問題があると感じた。講義と実学から、登山で道に迷って遭難しないために、地図が読めること、コンパスが使えることが必要と学んだ。最後に、水谷運営委員から来月の「岩登り」のガイダンスがあり、本日の「地図の読み方」の机上講座が終了した。

「地図の読み方・実技」 9月7日（日） 奥多摩・高水三山 雨のち曇り

3班のメンバーは、運営委員が駒崎さん、高野さん、班長に東原さん、副班長に本間さん、記録係に小林さん、他に篠田さん、遠藤さん、福島さんの6人。朝9時15分に軍畑駅に集合し、ストレッチを行い、9時45分にグループ毎にコンパスを振り、地図を片手に出発。運営委員が事前に①～⑬までの目印を設置しており、その目印を目標に地図と照らし合わせながら進む。途中で寺院、送電線、堰などを、現物と地図で確認しながら現在地を認識する。平溝橋分岐、高源寺登山道を過ぎ、11時40分に高水山の麓にある東屋に到着、ここで30分の昼食休憩をとる。まだ雨降りも激しいが、みんな食べることは楽しそうだ。12時13分高水山頂上（759メートル）、12時50分岩茸石山頂上（793メートル）に到着。岩茸石山から惣岳山へ向う途中、地図に723mの頂があるので、山の名前が地図には出ていないが、登山道を外れて行ってみる。馬仏山との標識があった。地図が読めないと行けない所である。ようやく雨も止みつつあった。惣岳山頂上（756メートル）に14時3分に到着。そのころには、雨で地図と記録用紙がぼろぼろになっている人もいた。全員無事に15時45分に御岳駅に到着。その後、グループ毎の反省会では、普段地図とコンパスを持って登山することがないので、今日の経験は良かったという意見が多かった。道に迷って遭難しないためには、「地図の読み方」、「コンパスの使い方」の更なる勉強と経験が必要だと感じた。 以上



登山学校

第19期登山学校【地図の読み方】に参加して

第19期生 日進山岳会 大塚千晶 記

2014 9/6 机上講座【地図の読み方】

まず「遭難」について学んだ。約50年前に大学山岳部のパーティーの事故の概要からだったが身の引き締まるスタートとなった。迷い⇒焦りに繋がるということを肝に銘じてくなくてはならないことが深く印象に残った。

地図と向き合ったのはいつ以来だろうか？

『地形図』…尾根は赤色 谷は青 おぼろ気だが少しずつ山の形が見えてくる。何だか楽しくなってきた。

『地図記号』（小学校以来だ）『等高線』『縮尺と実際の距離』『磁北線の引き方』等々。ちょっとでも説明から目を離すと解らなくなる程内容は盛りだくさんだったが、運営委員の方々が こまめに指導して下さい、なんとかついていった。

ただ明日以降も覚えていられるのかちょっと不安も残った。概念図も完成して、いよいよ明日は高水三山だ。

天気予報は雨。



2014 9/7 実技講座【高水三山 山行】

やはり雨。気の重い一日のスタートとなってしまったが、みんなの顔を思い浮かべながら 家を出た。電車の中で話すうち、少しずつ気持ちも上向きになってきた。こうなったら楽しむっきやない。班毎にポイントを確認しながら進んだ。今回の目標…地図と地形の見比べは順調だった。昼食の頃は土砂降り。立ったまま傘をさして食べたのは初めての経験。高水山山頂あたりは雨も小降りになったが視界はほぼゼロだった。休憩するとすぐ体が冷えてくる。また歩き出す。

さらに岩茸石山、惣岳山へとひたすら歩く。いつの間にか雨は止んでいた。下りはやや粘土質でいかにも滑りそうな道の連続だったが、班員はみな転ばなかった。個人的には運営委員の方から足の運びについてご指導を

いただき非常に有意義だった。送電線をみつけるとおおよその現在地を確認することも出来た。今回も大きな怪我もなく下山出来たことが嬉しい。当たり前なのだから嬉しい。登山学校も後半だ。これからは謙虚な気持ちで山と向き合っていきたい。



登山学校

第19期登山学校【地図の読み方】に参加して

19期受講生 田中 和広
田中 聖子記

【9月6日 机上学習 カルタスホールにて】

登山に欠かせないであろう、しかし自分が今まで疎かにしてきた「地図の読み方」の講座でした。自分の登山地図のスタイルはiPhoneにGPSのアプリであった為、「コンパス」と「紙の地図」の組み合わせは登山学校に入る前は未経験でした。

講義として地図とコンパスを持たない登山の危険性と道迷いの対策、地図の読み方を教わりました。その後実際地図等を使用して

- ① 磁北線の引き方
 - ② 等高線を100m置きに太線に、尾根・谷を色鉛筆で着色
 - ③ 地図に示された地点の標高を書き出し、断面図に起こす
 - ④ 概念図の作成
- を行いました。



【9月7日 実技講習 高水三山にて】

残念ながら実習当日は雨。レインウェアを着込みストレッチをした後9:30過ぎに軍畑駅を発。 「送電線の下だから地図ではこの辺」「堰の地図記号の所に堰堤があった!」「針葉樹と広葉樹との境界線だ」と、地図と実際の一致を楽しみながら歩きました。前日に書き出した標高と実際に計測した標高がほぼ合っていたのもうれしく思われました。途中コースアウトのハプニングもありましたが怪我もなく無事下山できたこと講師陣の皆様に感謝しております。

【コースタイム】

軍畑駅 9:36 → 9:25 平溝橋分岐 9:26 → 10:09 高源寺登山道入口 10:10 → 10:33 沢から登り始め 10:36 → 10:51 尾根に乗る 10:57 → 11:29 常福院昼食 12:02 → 12:09 高水山頂 12:12 → 12:26 高水山から2個目のコル 12:26 → 12:37 巻道との分岐 12:37 → 12:47 岩茸石山頂 12:57 → 13:23 馬仏山 13:25 → 13:52 惣岳山頂 14:04 → 14:32 ヘアピンカーブ 14:35 → 15:00 送電線鉄塔 15:00 → 15:33 慈恩寺(御嶽駅)



岩ネット

9月岩ネットに参加して

9月20日（土）くもり

山なみハイキングクラブ 岸澤泰子記

日和田のゲレンデに向かう途中の川沿いや登り口近くには、鮮やかな曼珠沙華があふれ、数カ月ぶりの参加で不安気味だった気持ちに少し和らぎをもたらしてくれました。

今回の参加者は、水谷講師を含め9人。数日前まで雨予報だった影響もあるのか、何度か経験したゲレンデの賑わいはなく、静かな中での開始となりました。

私たち会の仲間4名を除いてみなさん常連のベテランぞろい。

岩ネット参加は4回目、「何でそんな年齢になってから岩を始めたの？」 もっともな外野の声に少し傷つきながら、どこ吹く風を装っているものの現実は一歩前進三步後退の身体と頭脳。ロープワーク、身体の運び、所作、ビレーなどこれまで練習したことが頭をよぎり、近づくにつれ胸が高鳴り始めます。

既に、男岩南面にはロープが張られており、水谷講師の挨拶のあと、先輩方はいとも簡単に軽々と登って行きます。先輩方の手と足の動き・位置を凝視しイメージして登るが、いざ自分が岩に取り付いてみると、下からのアドバイスや何もかもが頭から吹っ飛んでしまい、辿ろうとしているルートは何処へやら。

そんな時はチョークに手を伸ばし、落ち着いて、落ち着いてと自分に言い聞かせながら一呼吸、以前教わったおまじないをすることにしています。

何度か経験しているコースだが、2回目、3回目とトライするうちに見えにくかった岩の凸凹の触感が見えるようになり、体重移動はまだうまくできないが、岩の掴み方、足の位置などなんとかスムーズに出来るようになった所で午前中は終了。

午後は男岩西面に。県連で用意してくれた新しいロープ2本がお披露目され、そのロープを使って練習開始です。

ベテラン組はバルジのルート、私たちは、西面左側クラックを使ったルートに入り、短い岩場の中で、ルートを僅かずつ変えながら新ルートにチャレンジです。

ここでは、僅かなルート移動なのに手の動きや足を置く位置が全く変わってしまい、楽なルートに逃げることなく、目指すルートを確認し意識して登る大切さを実感しました。

今日初めて先輩方に教えてもらいビレーに挑戦したYさんは、安定感のあるビレーを実践し、後半には、登る ⇄ ビレーを4人で交代しながら出来るまでになりました。

自分もそうだったように、登る時よりも緊張のあまり身体中が痛くなってしまったそうです。

暑くもなく、寒くもない岩日和の一日。それぞれの技量にあった練習ができる岩ネットはとてありがたく、先輩方が慣れた動きで登っているバルジを横目で見、いつの日か自分もトライできる日が来ることを楽しみに日和田ゲレンデを後にしました。水谷講師、先輩方ありがとうございました。



ハイキング

「第19回全国ハイキング交流集会in岐阜」に参加して

三郷山の会 大園 緑

9月27日（土）岐阜の長良川スポーツセンターにて開催。

三郷山の会から4名が参加し、各地からの経験を持ち寄りお互いに学びあう場所として意見交換がありました。

取り巻く環境などに違いこそありますが、抱える問題や悩みは私達と同じであると共感。それでも前向きにそれぞれが工夫し努力していることを充分感じ取れました。そして語り合い交流して多くの仲間から元気を頂きました。

9月28日（日）岐阜市最高峰の「百々（どど）ヶ（が）峰（みね）（417m）」に交流ハイキング。センターのある町中から山寄りにある諏訪神社が登山口。雑木林に強い日差しが射し込み久しぶりの晴天日和のこの日、里山に登れる喜びに心が弾み、仲間に対する違和感もなく不思議である。1時間足らずで稜線に入ると市内がよく見え、更に西峰から百々ヶ峰へと展望は素晴らしいです。頂上からは北、中央アルプスの連なりが見え、南には伊吹山、養老、鈴鹿の山系が。広大な濃尾平野に金華山（岐阜城）、長良川、木曽川、名古屋方面が広く見渡せて感動しました。その後松尾池で解散となり、時間に余裕があったので岐阜城に登りちょっと歴史に触れたり天守閣からも眺望を楽しみました。

この2日間、皆で力を出し合い作り育て受け継ぐ筋道がはっきりしている仲間と共に行動してみ、改めて考えさせられ、会以外の仲間と触れ合うことの大切さを実感しました。

「ハイキング運動を継承し、さらに発展させるために」

埼玉労山が一番北にある参加団体として、千葉、東京、神奈川、山梨、愛知、岐阜、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫、岡山、香川、広島、長崎等60名強の仲間たちとの交流会が開かれました。

27日は3グループに分かれ、活発な意見交換が行われ、労山の中でも大所帯の団体からはその運営がしっかり行われている事に感心させられました。運営する仲間たちは高齢化の真ん中であるにも関わらず、皆元気で真摯に取り組まれていて、山だけでなく文化的な事にも参加出来る受け皿が考えられており楽しんでいる事は賛同でき、受け入れていきたいと思いました。

お風呂もよく、食事美味しく、食後の交流会では各地の地酒を味わい、翌日は3コースある里山にそれぞれ登り、会の梓から飛び出し、和気あいあいと秋のハイキングが楽しめました。

全国H委員 三郷山の会 佐藤久子

